



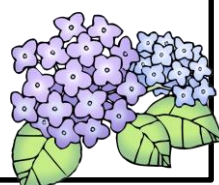
学校教育目標「豊かな心と 確かな学力 つながりあう学校」

No.8

庄内西小学校だより

令和3年(2021年)6月28日発行

校長 西口肇子



カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』でご覧ください。

SDGs(エスディージーズ)について考える

最近、新聞やテレビの中でよく見たり聞いたりするようになった「SDGs」という言葉。「SDGs」とは、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、持続可能な世界を実現するために、2030年までの15年間で達成するために掲げた国際目標です。社会や経済、地球環境についての17の目標と169のターゲットから構成されており、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。現在各国の政府や企業、団体がそれぞれの分野で積極的に取り組みをすすめているようですが、本校でも、学年に応じて「SDGs」について考える機会を持つようにしています。

例えば、4年生の社会では「環境」について学習します。広範囲に及ぶ環境学習の中でも、ごみや水に関する学習は、子どもたちにとって身近なテーマです。学習したことをいかし、家庭や学校においても「もったいない」の気持ちを持って生活してほしいと思います。

飲料用紙パックは、今年から、学校では集めません。ご家庭で「紙・布」の資源ごみの日に出し、リサイクルするようにしてください。

サステナブル デベロップメント ゴールズ

SDGs:Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標



出前授業(ごみ収集車体験)

豊中市伊丹市クリーンランドから、ごみを収集するパッカー車とダンプカーが学校にやってきました。収集車のしくみの説明や排出の実演、パワーゲートの乗車体験など盛りだくさんの内容の出前授業でした。



社会見学(下水処理場&クリーンランド)

豊中市伊丹市クリーンランドと原田下水処理場までは5Km近くあるのですが、列を乱さず1時間近くしっかり歩けた4年生は立派です。下水処理場では、汚物交じりの下水が処理され、透明な水になって猪名川に返される過程を見学しました。また、クリーンランドでは、巨大なごみ焼却場を見学したり、ごみの分別クイズなどに挑戦したりしました。**3R**についての理解を深めることができたと思います。この後、学習したことを新聞にまとめます。

Reduce [リデュース] ⇒ものを大切に使い、無駄なごみを減らすことです。

(例1)必要ないものは買わない、もらわない。

(例2)買い物には、レジ袋を使わずに済むようにエコバッグを持っていく。

Reuse [リユース] ⇒文字通り、もう一度、繰り返し使うことです。

(例1)シャンプーや洗剤などポンプが再利用できるものは、詰め替え用を買う。

(例2)いらなくなったものは譲ったり、リサイクルショップやフリマで売ったりする。

Recycle [リサイクル] ⇒ごみを、資源として再利用することです。

(例1)資源ごみを決まったごみの日に正しく出す。

(例2)資源ごみを再利用して作られた製品を買う

